

## 産地情勢 (2022.11.10)

ブラジル産とうもろこし

ブラジル国家食糧供給公社は 2022/23 年産の生産見通しを 126.4 百万トンに 0.6 百万トン減少した。夏作の作付面積が昨年より 3%減少したのが主な要因。(11月10日)

クロップ カレンダー	作付期	受粉期	収穫期	割合	特徴
フルシーズン・ コーン (夏作)	8-9月	11-12月	2-5月	22%	主に国内 飼料需要 向
サフナ・コーン (冬作)	1-3 月上 旬	4月	6-8月	76%	輸出の中 心 大豆収穫 後に作付

ブラジル産大豆

46% (平年 40%) の作付けが完了し順調に進んでいる。(11月2日)

ブラジル国家食糧供給公社は 2022/23 年産の生産見通しを 153.5 百万トン (前年 125.5 百万トン) に 1.2 百万トン増加した。(11月10日)

	作付期	着鞘期	収穫期
例年のクロップ カレンダー	9月-12月初 め	1月	1月-4月

アルゼンチン産とうもろこし

作付けは 23% (平年 35%) まで進捗した。乾燥気候や低温で作付けが遅れており、作付面積や単収の減少や大豆への転換が懸念される。(11月9日)

備考	作付期	受粉期	収穫期
作付は 2 段階に分かれる。	9-11 月始め	12-1 月	3-4 月
	12-1 月	3-4 月	6-7 月

アルゼンチン産大豆

	作付期	着鞘期	収穫期
例年のクロップ カレンダー	10月-1月中旬	2月	3-6月

以上、Soybean and Corn Advisor, Inc. Corn+soybean digest より

米国農務省生産量予測（11月9日）

とうもろこし

（百万トン）

	2020/21	2021/22	2022/23
米国（9-8月）	358.5	382.9	353.8
ブラジル（3-2月）	87.0	116.0	126.0
アルゼンチン（〃）	52.0	51.5	55.0

米国は 2022/23 年度の単収は 0.4bu/acre 回復し 172.3bu/acre となり、生産量が 35 百万ブッシェル増加した。飼料需要は 25 百万 bu 増加したが、期末在庫率は 8.34%に 0.06%回復した。

大豆

（百万トン）

	2020/21	2021/22	2022/23
米国（9-8月）	114.8	121.5	118.3
ブラジル（2-1月）	139.5	127.0	152.0
アルゼンチン（4-3月）	46.2	43.9	49.5

米国は 2022/23 年度の単収は 0.4bu/acre 回復し 50.2bu/acre となり、生産量が 33 百万ブッシェル増加した。需要は搾油が 10 百万 bu 増加したが、期末在庫率は 4.98%に 0.44%増加した。

アルゼンチンは 2021/22 年度が 0.1 百万トン、2022/23 年度が 1.5 百万トン生産量が減少した。

\*北半球の穀物年度は 21/22 の場合、2021 年の月から始まるが南米は 2022 年の月から始まる。(USDA)